

国語科 3年

「握手」場面構成ノートの、「ノート大賞」を決めよう。

井田由紀

【活動の目標】

「握手」の場面構成が、工夫してとれているノートを班で還流して選び、班代表がプレゼンして、クラスの「ノート大賞」を決めることができる。

【 問 い 】

・一覧できる場面構成プリントのノートの取り方を、他者と自分とを比べ、効果的なノートの取り方を考えさせる。

・「ノート大賞」は、カラーコピーして全員に配付し、テスト勉強の材料として学習内容を深めさせる。

今回 ICT を活用した場面	従来の活動
	B2 班でノートを還流し、ノートの取り方の優れているところを指摘しあう。
B4 班代表のノートを実物拡大機でクラスに提示し、班代表の生徒がプレゼンする。	班代表のノートを印刷して次時にプレゼンする。
C1 「ノート大賞」の選出を、実物の拡大を見せながら行なう。	印刷されたものを比較して、各自選出する。

【資料】 生徒が作成したレポート

【ICT 機器を活用する良さ】

- 授業者が印刷したり、配付したり時間を省略できる。
- 一覧のプリントなので、映像で見た方がわかりやすい。
- プレゼンする際、拡大したり、指さしたりできる。

【改善すべき点と原因および改善案】

- ・今回は、あまり使われなくなっている実物拡大機を使ったが、クロームブックを使ってもできる活動である。
- ・ノート大賞のカラーコピーは国語ファイルに綴じさせ、テスト勉強に活用しようと呼びかけたところ、よく見直していた。
- ・カラーコピー配付を、生徒のクロームブックに撮影でもよいのかもしれない。
- ・教材が終わるごとに帯でこの活動を入れていきたい。

資料